

今年も、あと1ヶ月足らず。夏以降は、まるで早送り操作で、ゆっくり秋の風情を楽しむ間もなく、師走の訪れを迎えてしまったような気がします。

街に、ジングルベルの音色が響くと、だいぶ永いことオトナをやっている今でも、何となく浮き浮きし、赤と濃いグリーンのちょっと上質な、あのクリスマスの包装紙を目にすると、ワクワクしてしまうから本当に不思議です。

子どもの頃の記憶や思い出の力ってすごいんだなあ！

ぜひ、子どもたちの夢と、思い出づくりを大切にしてくださいね！！



## RS ウイルス感染症

毎年冬に流行が見られるRSウイルス感染症が、今年は秋口から、すでに乳幼児を中心に患者が急増しているそうです。

あまり聞き慣れないこの病名・・・発熱や喉の痛み、咳、鼻水など、普通の風邪と症状はよく似ているのですが、感染力が非常に強く、1歳未満の乳児や、低出生体重児、心肺疾患などのある子どもが感染すると、細気管支炎や肺炎を引き起こすなど、重症化しやすいので注意が必要だといえます。

患者の約9割は2歳以下の乳幼児。呼吸が浅く、ゼロゼロという音がし、顔色が悪い、食欲が無い、ミルクの飲みが悪いなど、いつもと違う症状があったら迷わず受診してほしいとのことです。

感染経路は、咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込む飛沫感染と、手指、ドアノブ等を介する接触感染がほとんど。

生涯に何度も罹るうち、症状が次第に軽くなっていく特徴があるため、大人は自分の感染を軽視しがち。でも、このウイルスは、体外に出ても、6時間程度は感染力が落ちないため、ハナをかんだ後の手で触れたテーブル等を介し、子どもに感染させてしまう恐れもあるそうです。

感染予防は、なんといっても、手洗いの徹底。そして症状が出たら大人の場合、ただのハナ風邪と思わずにマスクをして、子どもが触れそうなものを、アルコールでこまめに拭くことも有効だということです。